

# 株式会社リンクアンドモチベーション

## 第14期 定時株主総会



ひとりひとりの本気がこの世界を熱くする

Link and Motivation Group



# 開会宣言

代表取締役会長

小笹 芳央

# 議決権数報告

代表取締役会長

小笹 芳央

1. 監査報告
2. 事業報告・計算書類報告
3. 事業計画・成長戦略説明
4. 議案説明
5. 質疑応答
6. 議案採決
7. 閉会宣言

- ◆ 取締役紹介
- ◆ 懇親会・LinkDAY

# 1. 監査報告

常勤監査役

本田 寛

## 2. 事業報告・計算書類報告

代表取締役会長

小笹 芳央

連結・単位(百万円)	2012年 実績	2013年 計画	2013年 実績	前年比	計画比
売上高	18,705	22,500	22,383	+19.7%	-0.5%
営業利益	1,149	1,550	1,558	+35.6%	+0.5%
経常利益	1,133	1,510	1,510	+33.2%	+0.0%
当期利益	708	830	832	+17.5%	+0.3%

- 全てのセグメントにおいて堅調に推移し、売上高・各段階利益は前年比大幅増
- 売上高・営業利益・経常利益で過去最高を更新
- 営業利益・経常利益・当期利益で上方修正後の計画を上回る

# 2013年度リンクアンドモチベーショングループ事業構造





# セグメント別 売上高・売上総利益

連結・単位(百万円) ※<>内は売上総利益	2012年	2013年	前年比	
ビジネス部門	売上高	12,317	14,137	+14.8%
	売上総利益	<5,033>	<5,689>	+13.0%
コンシューマー部門	売上高	6,852	9,177	+33.9%
	売上総利益	<2,428>	<3,265>	+34.5%

●ビジネス部門、コンシューマー部門ともに堅調な業績となり、  
売上高、売上総利益ともに前年比大幅増

# ビジネス部門 売上高・売上総利益

連結・単位(百万円) ※<>内は売上総利益		2012年	2013年	前年比
①	人事・教育支援 (MM領域)	3,200	3,405	+6.4%
		<2,000>	<2,202>	+10.1%
②	採用・動員支援 (EM領域)	2,548	3,013	+18.3%
		<1,528>	<1,780>	+16.5%
③	営業・販売支援 (CM領域)	5,948	7,095	+19.3%
		<1,184>	<1,377>	+16.3%
④	IR・SR支援 (IR領域)	619	623	+0.6%
		<319>	<329>	+3.1%

※(株)リンク・マーケティングが2012年2月にグループインしたため、③営業・販売支援(CM領域)の2012年実績に1月の成績は含んでおりません

- 全領域において、**売上高・売上総利益ともに前年比増**
- 特に、企業の人材調達ニーズの高まりを捉えたEM領域とCM領域は、**売上高・売上総利益ともに前年比大幅増**

# ビジネス部門 領域別顧客数・売上顧客単価

	顧客数(社数)			顧客単価(百万円/社)			プロダクト動向
	2012年	2013年	前年比	2012年	2013年	前年比	
ビジネス部門	1,984	2,073	+4.5%	6.2	6.8	+9.8%	
① 人事・教育支援 (MM領域)	938	1,025	+9.3%	3.4	3.3	-2.6%	社員育成研修 ↗ 人事制度コンサルティング ↗ 中小企業向け会員サービス ↗
② 採用・動員支援 (EM領域)	484	517	+6.8%	5.3	5.8	+10.7%	採用戦略立案・採用プロセス支援 ↗ 採用イベント ↗ 新卒採用動員・紹介 ↗
③ 営業・販売支援 (CM領域)	690	677	-1.9%	8.6	10.5	+21.6%	ファッション業界への販売員派遣 ↗ 通信・家電業界への販売員派遣 ↗
④ IR・SR支援 (IR領域)	171	176	+2.9%	3.6	3.5	-2.3%	株主通信等の紙メディア制作 ↗ 決算説明会等のWEB動画配信 ↘

ビジネス部門全体で、**顧客数・顧客単価ともに前年比増**

- ①MM領域は、社員育成研修・中小企業向け会員サービスの拡販により、**顧客数増加・顧客単価減少**
- ②EM領域は、中小企業への取引拡大により**顧客数増加**、ワンストップの深耕により**顧客単価大幅増加**
- ③CM領域は、顧客の選択と集中により顧客数減少・**顧客単価大幅増加**
- ④IR領域は、株主通信などのIRツールの拡販により、**顧客数増加・顧客単価減少**

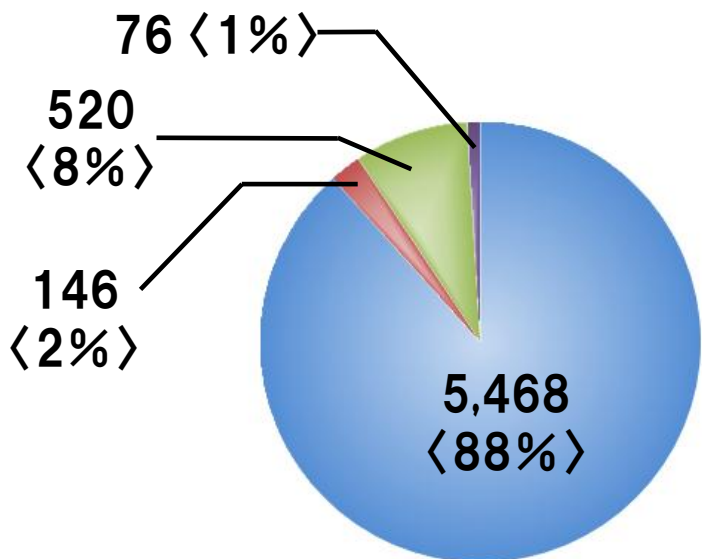
# コンシューマー部門 売上高・売上総利益

連結・単位(百万円) ※<>内は売上総利益	2012年	2013年	前年比
①・② <b>アカデミー系</b> (スクール領域・学習塾領域)	6,209	8,496	+36.8%
	<2,228>	<3,036>	+36.3%
③・④ <b>エンターテインメント系</b> (スポーツ領域・レストラン領域)	642	680	+5.9%
	<199>	<229>	+15.0%

- ①・② アカデミー系は、スクール領域において大栄教育システム(株)のグループインに加え、アビバでの資格講座の増加により、**売上・売上総利益ともに前年比大幅増**
- ③・④ エンターテインメント系は、スポーツ領域においてプロバスケットボール球団(リンク栃木ブレックス)のスポンサー収入が大幅に増加し、**売上・売上総利益ともに前年比増**

# コンシューマー部門 アカデミー系売上構成

## 2012年 売上構成

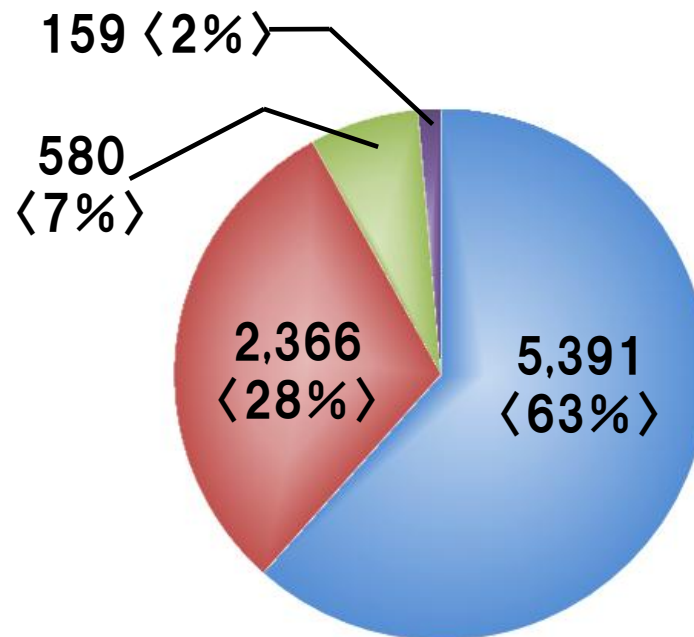


- パソコン講座
- 資格講座
- 物販
- 学習塾

単位(百万円)  
※〈〉内は売上構成比率

《売上》 6,209百万円  
《拠点数》 114拠点  
《在籍生徒数》 10,466名

## 2013年 売上構成



《売上》 8,496百万円 (昨年比 137%)  
《拠点数》 144拠点 (昨年比 130%)  
《在籍生徒数》 14,851名 (昨年比 142%)

- 大栄教育システム(株)のグループインにより売上・拠点数・生徒数が**大幅増**
- (株)アビバの資格講座が前年比で大幅に増加したことにより資格売上が**前年比大幅増**

連結・単位(百万円)	2012年末	2013年末	当期増減
流動資産	5,454	4,195	▲1,259
固定資産	4,848	6,176	+1,327
資産合計	10,303	10,371	+68
流動負債	4,553	5,083	+529
固定負債	2,501	1,493	▲1,008
〈有利子負債〉	<2,858>	<1,832>	<▲1,026>
純資産	3,248	3,794	+546
負債・純資産合計	10,303	10,371	+68

●大栄教育システム(株)の統合に伴い、資産・負債が一時的に増加したが、有利子負債の返済が奏功し、**自己資本比率が31.5%から36.6%に増加**

## ●2013年12月期 配当方針

⇒**四半期配当**の実施

## ●2013年第4四半期 配当

⇒**当初予定通り90円**の配当を**3/25**に実施予定

※2013年11月30日を基準日として、**株式分割・増配**を実施

	第1四半期 配当実績	第2四半期 配当実績	第3四半期 配当実績	第4四半期 配当予定
1株当たり 配当額	300円	150円	150円	<b>90円</b>
資本施策	—	1対2の株式分割	—	1対2の株式分割 20%増配

# 3. 事業計画・成長戦略説明

代表取締役会長

小笹 芳央



## 役員体制の変更

- 取締役 勝呂 彰 の退任

## 経営統合及び社名変更

- (株)アビバと大栄教育システム(株)を経営統合
- (株)リンクアカデミーに社名変更

連結・単位(百万円)	2013年 実績	2014年 計画	前年比
売上高	22,383	25,000	+11.7%
営業利益	1,558	1,820	+16.8%
経常利益	1,510	1,800	+19.2%
当期利益	832	1,000	+20.1%

- 売上高及び全ての段階利益において、**前年比大幅増を計画**
- 全ての段階利益において**過去最高益を計画**

# セグメント別 売上高計画

単位 (百万円)	2013年 実績	2014年 計画	前年比
ビジネス部門	14,137	15,900	+12.5%
コンシューマー部門	9,177	9,500	+3.5%

- **ビジネス部門は前年比大幅増を計画**
- **コンシューマー部門は収益性向上を図り、前年比微増の計画**

# 領域別 売上高計画 (ビジネス部門)

単位(百万円)		2013年 実績	2014年 計画	前年比
①	人事・教育支援 (MM領域)	3,405	3,900	+14.5%
②	採用・動員支援 (EM領域)	3,013	3,450	+14.5%
③	営業・販売支援 (CM領域)	7,095	7,900	+11.3%
④	IR・SR支援 (IR領域)	623	650	+4.3%

- 人材ニーズが高まる環境を加味し、MM領域・EM領域で**大幅増**の計画
- 売上高規模の大きいCM領域でも**大幅増**の計画

# 領域別 売上高計画 (コンシューマー部門)

単位(百万円)	2013年 実績	2014年 計画	前年比
①・② アカデミー系 (スクール領域・学習塾領域)	8,414	8,800	+4.6%
③・④ エンターテインメント系 (スポーツ領域・レストラン領域)	670	700	+4.3%

● アカデミー系では、(株)リンクアカデミーの収益性向上を図り、**前年比微増**の計画

# 配当について（株式の分割及び単元株制度の採用）

## 【背景】

全国証券取引所が公表した「売買単位の集約に向けた行動計画」の趣旨に鑑み、当社株式の売買単位を100株とするため100分割を実施

※この株式の分割及び単元株制度の採用に伴う投資単位の金額の実質的な変更はありません

## 【分割の詳細】

- ・分割比率：1対100
- ・分割基準日：2014年3月31日(月)
- ・効力発生日：2014年4月1日(火)

## ●2014年12月期 配当方針

⇒**四半期配当の実施**

⇒**四半期毎に単元株当たり90円、年間配当360円の配当**

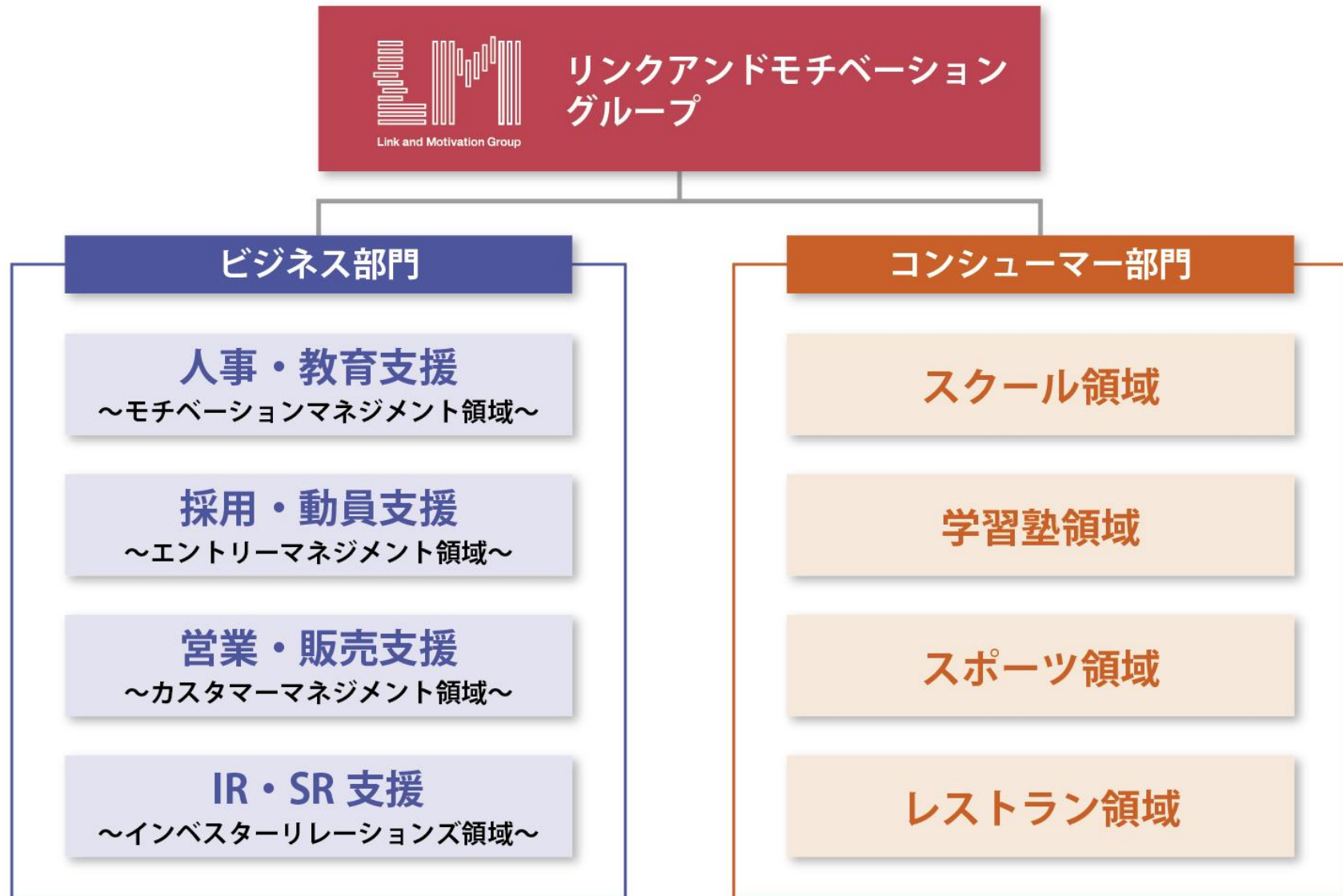
	第1四半期 配当予定	第2四半期 配当予定	第3四半期 配当予定	第4四半期 配当予定
単元株当たり 配当額	90円	90円	90円	90円
単元株式数	1株	100株	100株	100株

※前述の株式の分割及び単元株制度の採用の影響を反映しております

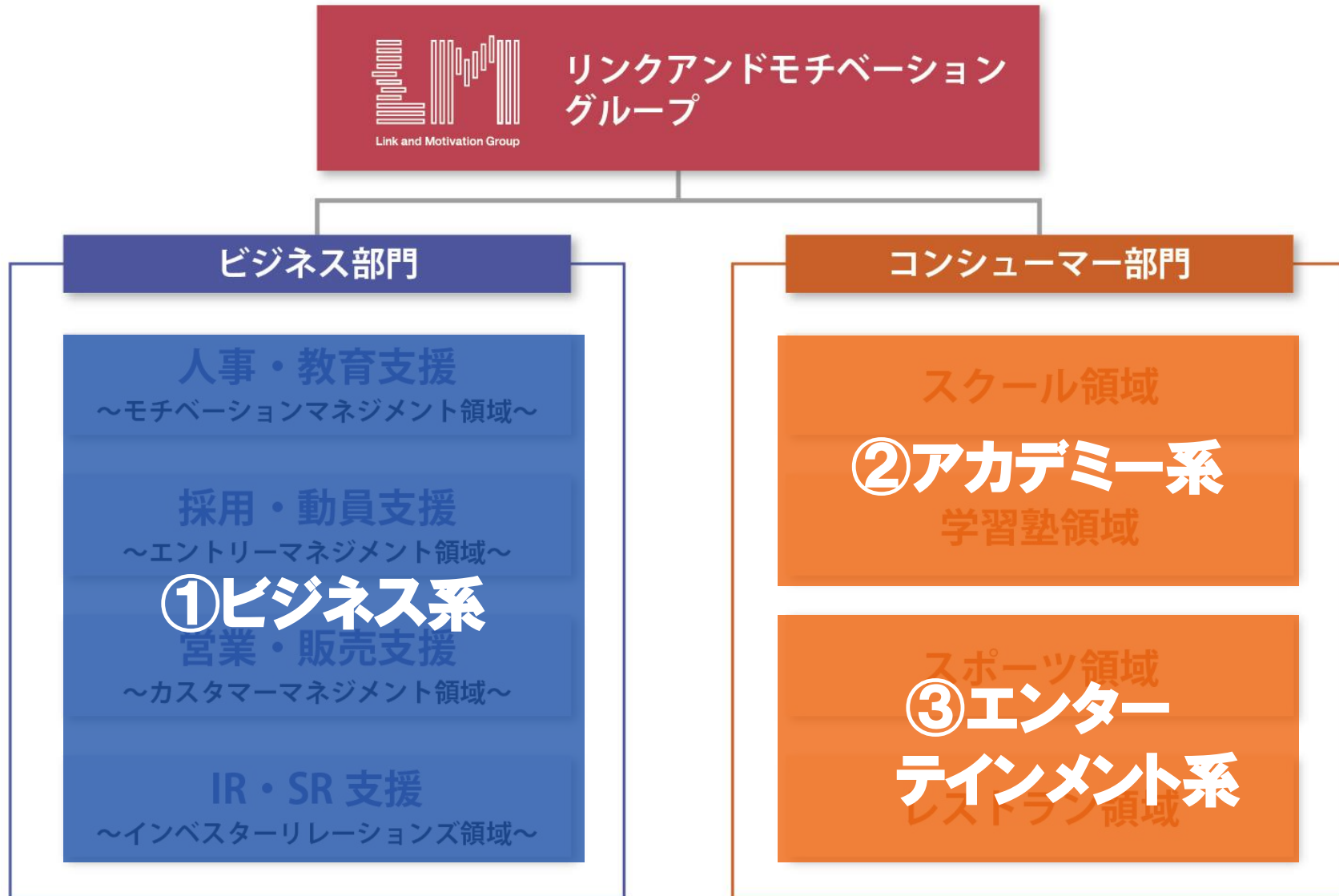
# リンクアンドモチベーショングループの 今後の成長戦略



# 2013年度リンクアンドモチベーショングループ事業構造



# 2013年度リンクアンドモチベーショングループ事業構造



# ①ビジネス系の事業



Key Message :

**モチベーションカンパニー**

全てのステークホルダーとの関係構築・強化を支援

**モチベーションマネジメント領域**

人事・教育支援(対社員)

**カスタマーマネジメント領域**

営業・販売支援(対顧客)

企業

採用・動員支援(対応募者)

**エントリーマネジメント領域**

IR・SR支援(対投資家)

**インベスターリレーションズ領域**

## ②アカデミー系の事業



Key Message : **アイカンパニー**

# 主体的・自立的にキャリアを開く人材を支援

## 全国388拠点、年間4万人以上を支援

※FC拠点含む

中学生・高校生  
(学習塾)



大学生  
(就職支援)



社会人  
(キャリアスクール)



# ③エンターテイメント系の事業



Key Message : **独自の経営手法の実践**

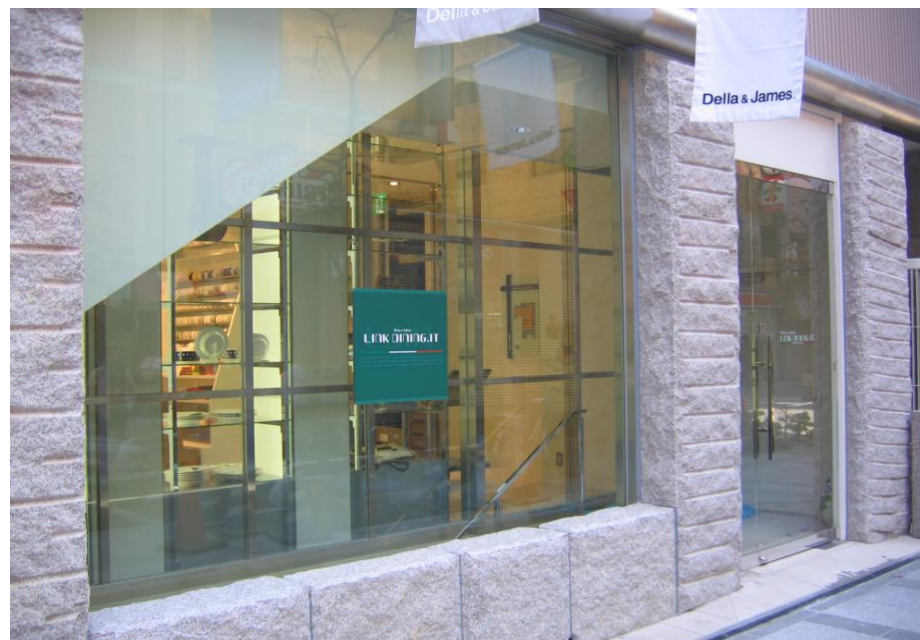
【リンク栃木ブレックス】

設立3年で日本一

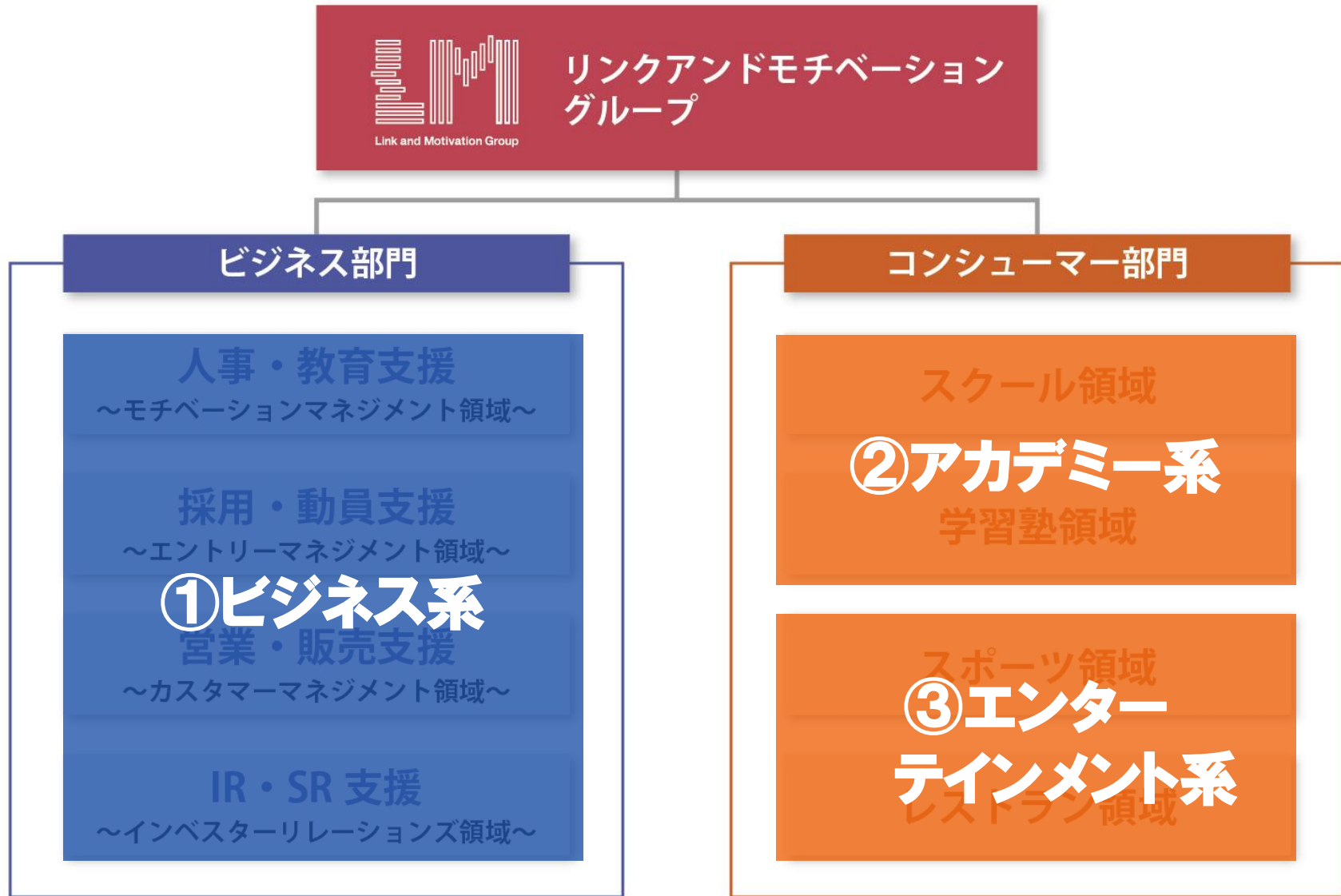


【リンクダイニング】

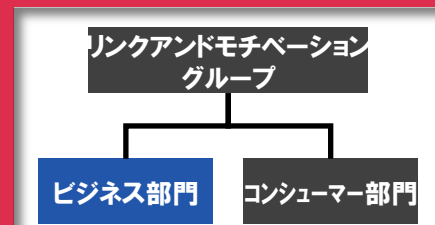
イタリアンレストラン@銀座



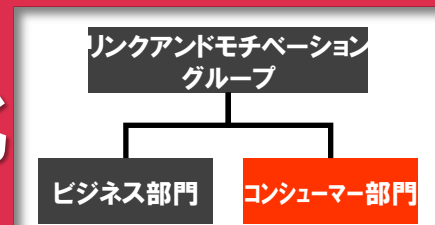
# 2013年度リンクアンドモチベーショングループ事業構造



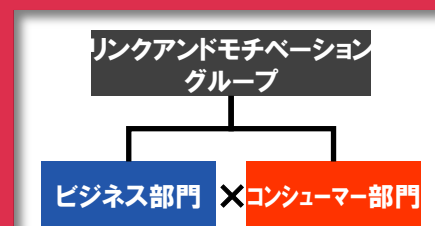
## 1 人材需要拡大への対応



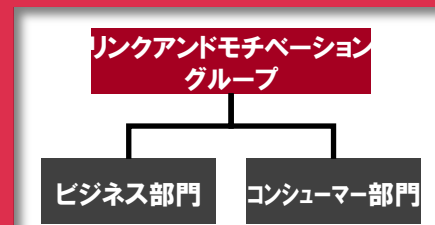
## 2 トータルキャリアスクールへの進化



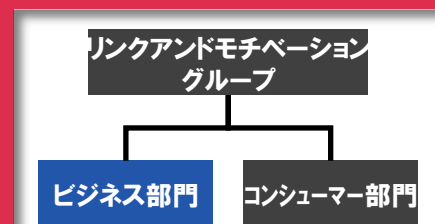
## 3 掛け算による新たな収益源の創出



## 4 インキュベーション事業スタート



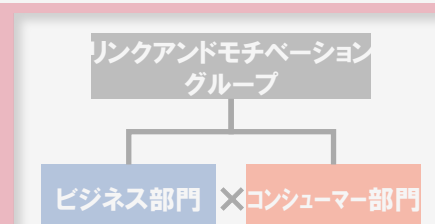
## 1 人材需要拡大への対応



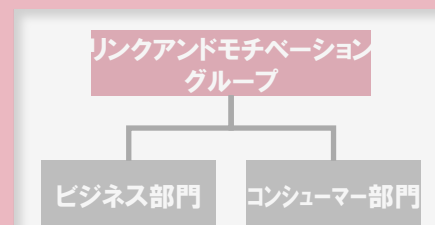
## 2 トータルキャリアスクールへの進化



## 3 掛け算による新たな収益源の創出

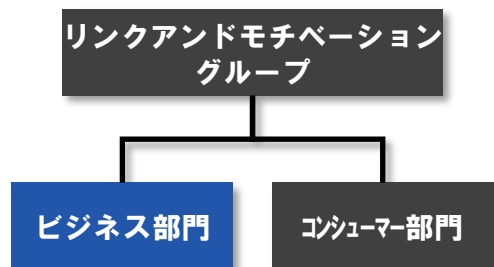


## 4 インキュベーション事業スタート



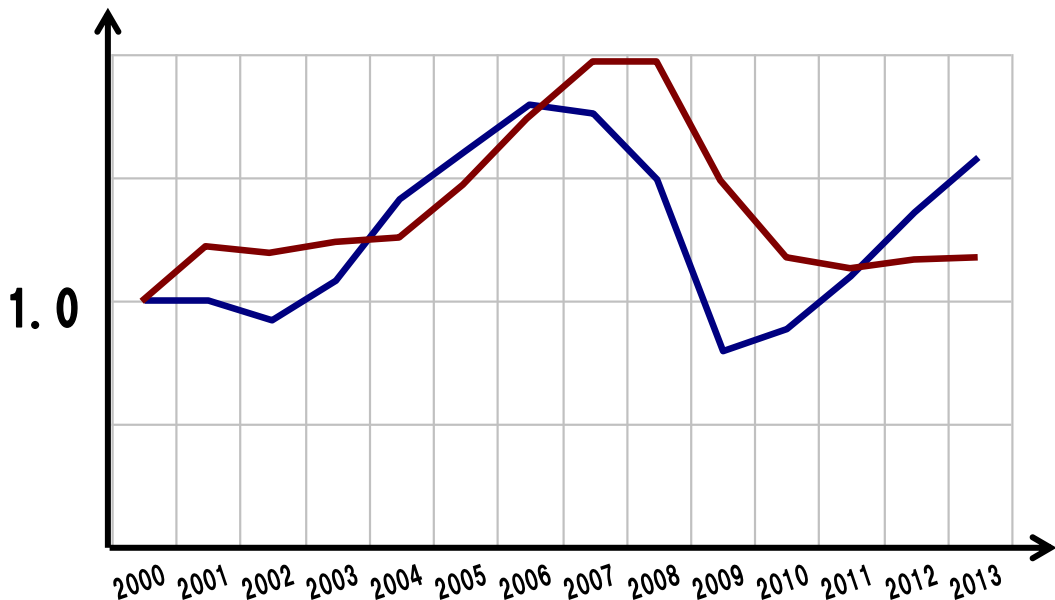


# ①人材需要への対応

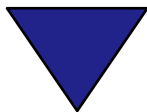


有効求人倍率から見てとれる  
増加する人材ニーズに  
ビジネス部門の2つの強みで対応

■ 2000年の求人倍率を1とした時の推移



中途を先行指標とし、  
新卒も上昇傾向が伺える

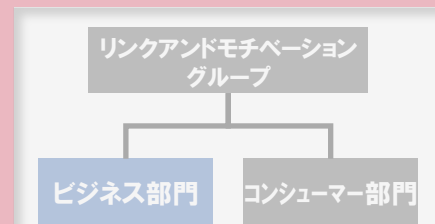


強み①  
採用領域の  
ワンストップサービス

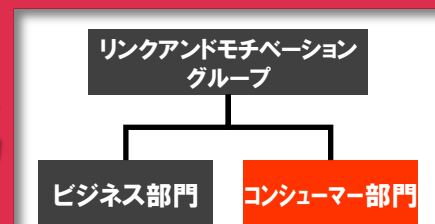
強み②  
採用から育成への  
一気通貫モデル

# 今後の指針

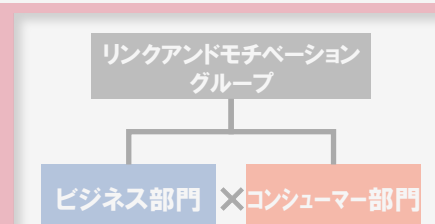
## 1 人材需要拡大への対応



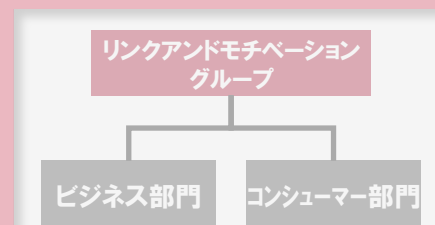
## 2 トータルキャリアスクールへの進化



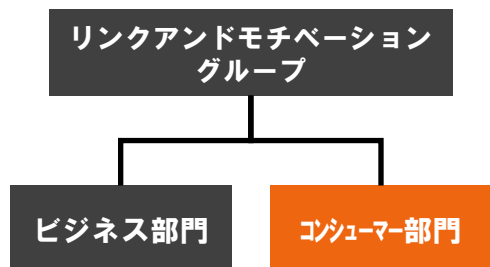
## 3 掛け算による新たな収益源の創出



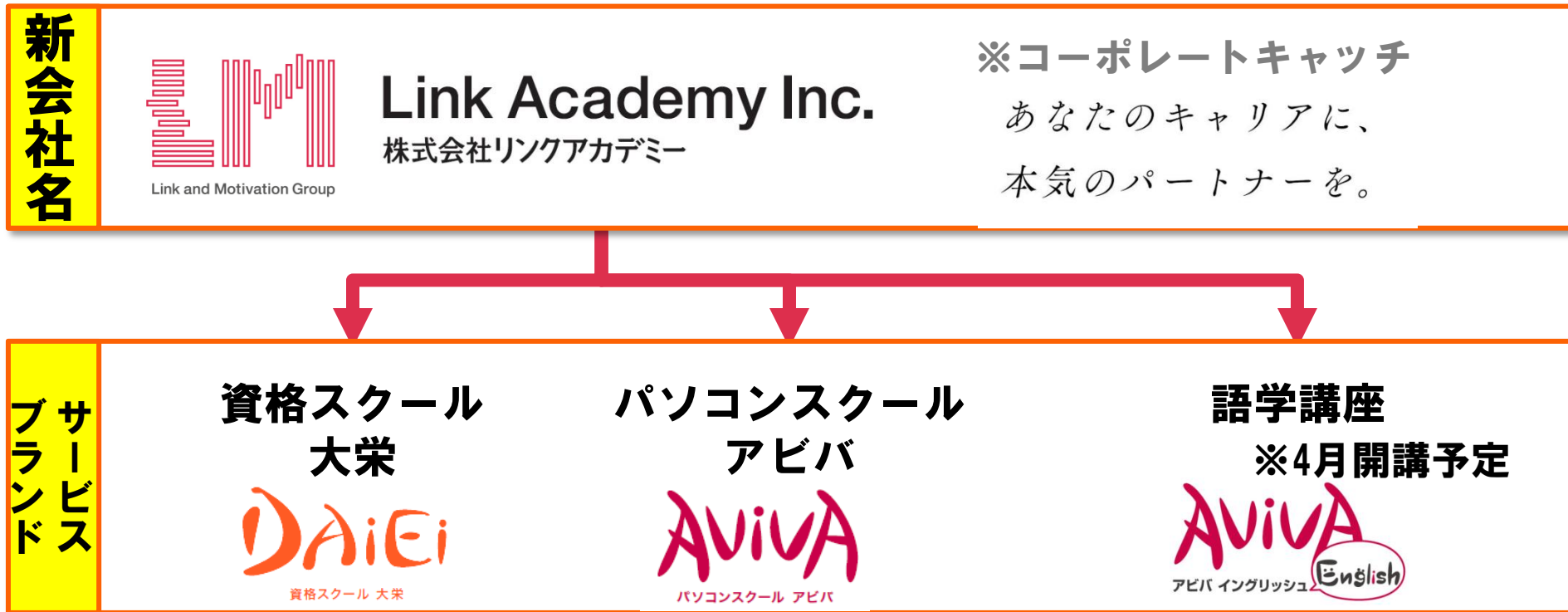
## 4 インキュベーション事業スタート



## ②トータルキャリアスクールへの進化



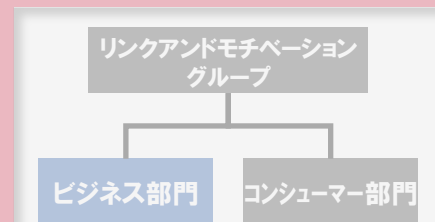
新会社(株)リンクアカデミーにおいて  
資格・IT・語学で総合的にキャリア支援



※拠点の統廃合やコールセンターの集約による収益性向上を目指す

# 今後の指針

## 1 人材需要拡大への対応



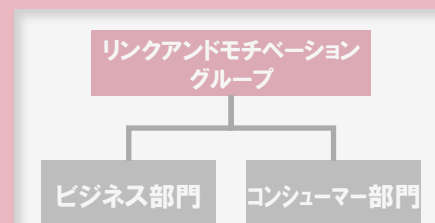
## 2 トータルキャリアスクールへの進化



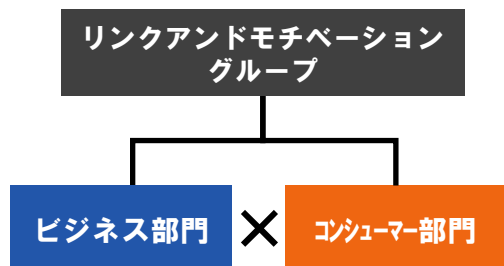
## 3 掛け算による新たな収益源の創出



## 4 インキュベーション事業スタート



# ③掛け算による新たな収益源の創出



キャリアナビゲーションの実践により、受講生に対して育成機会・就業機会を提供  
派遣事業においても登録稼動コストの低減

個人診断と  
カウンセリング



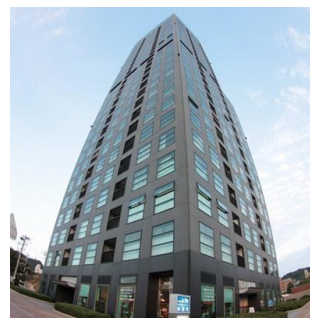
コンシューマー部門

多種多様な  
講座の提供



コンシューマー部門

就業機会の  
提供

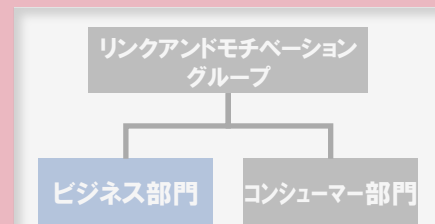


ビジネス部門

※福岡 (1/6)、名古屋 (1/27) で統合拠点設立。主要拠点で順次開設予定

# 今後の指針

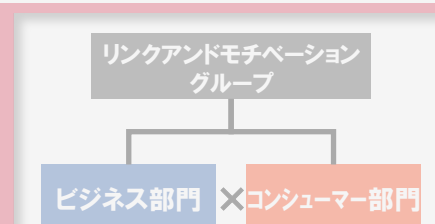
## 1 人材需要拡大への対応



## 2 トータルキャリアスクールへの進化



## 3 掛け算による新たな収益源の創出



## 4 インキュベーション事業スタート



## ④ インキュベーション事業スタート

出資先企業と一連托生となり、  
モチベーションカンパニー経営による事業成長を実現する

### 対象企業

- 数年内に株式上場を目指している企業
- 当社の経営観  
(モチベーションカンパニー)  
への共感

### 出資規模

- 株式保有比率  
5%～15%程度を出資

#### 【出資済企業】

(株)リッチメディア



RICHMEDIA

WEBマーケティング・メディア事業

(株)うちナビ



不動産賃貸事業

#### 【出資予定企業】

(株)イノベーション

INNOVATION

WEBマーケティング事業

## ④ インキュベーション事業スタート

# 新規案件として、出資に関する基本合意を締結 株式会社フロムスクラッチ

### 株式会社 フロムスクラッチ

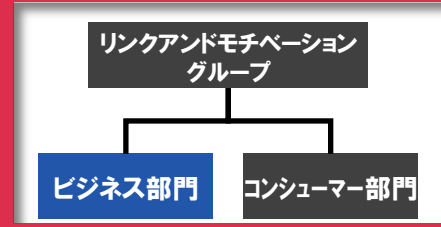


- ・ 設立年月日：2010年4月6日
- ・ 資本金：10,000千円
- ・ 代表者：安部 泰洋
- ・ 事業内容：インターネットマーケティング・広告事業  
メディア運営事業

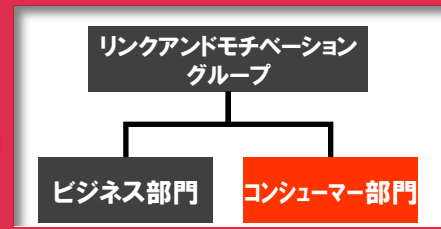
※当社グループ出資比率：5～15%



## 1 人材需要拡大への対応



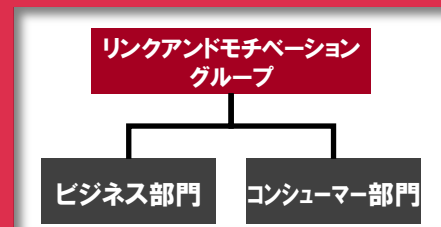
## 2 トータルキャリアスクールへの進化



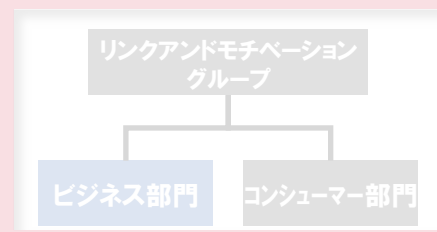
## 3 掛け算による新たな収益源の創出



## 4 インキュベーション事業スタート



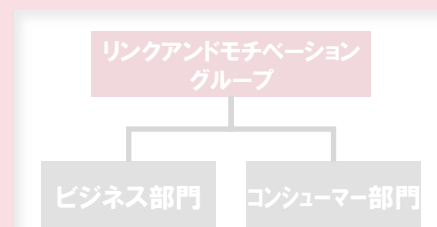
## 1 人材需要拡大への対応



M&Aによる事業拡大も引き続き継続して検討

ビジネス部門 ×コンシューマー部門

## 4 インキュベーション事業スタート



# 4. 議案説明

代表取締役会長

小笹 芳央

## 取締役候補者

**小笹 芳央** : **代表取締役会長**

**坂下 英樹** : **代表取締役社長**

**大野 俊一** : **グループデザイン本部担当**

**※ 役職は就任予定役職です**

# 第2号議案：定款一部変更の件

## 変更前

(発行可能株式総数)

第6条 当社の発行可能株式総数は、  
4,000,000株とする。

(新 設)

## 変更後

(発行可能株式総数)

第6条 当社の発行可能株式総数は、  
400,000,000株とする。

(単元株式数)

第6条の2 当社の単元株数は、100株とする。

# 第2号議案：定款一部変更の件

## 変更前

(新 設)

## 変更後

**(單元未満株式についての権利)**

**第6条の3 当会社の株主は、その有する單元未満株式について、次に掲げる権利以外の権利を行使することができない。**

- 1. 会社法第189条第2項各号に掲げる権利**
- 2. 会社法第166条第1項の規定による請求をする権利**
- 3. 株主の有する株式数に応じて募集株式の割当て及び募集新株予約権の割当てを受ける権利**

# 第2号議案：定款一部変更の件

## 変更前

(取締役会の招集権者および議長)

第21条 取締役会は、法令に別段の定めのある場合を除き、**取締役社長**がこれを招集し、議長となる。

2. **取締役社長**に事故があるときは、取締役会においてあらかじめ定めた順序に従い、他の取締役が取締役会を招集し、議長となる。

## 変更後

(取締役会の招集権者および議長)

第21条 取締役会は、法令に別段の定めのある場合を除き、**取締役会においてあらかじめ選定した取締役**がこれを招集し、議長となる。

2. **前項の取締役**に事故があるときは、取締役会においてあらかじめ定めた順序に従い、他の取締役が取締役会を招集し、議長となる。

# 第2号議案：定款一部変更の件

## 変更前

(新 設)

## 変更後

**附則**

**第1条 第6条(発行可能株式総数)の変更並びに第6条の2(単元株式数)及び第6条の3(単元未満株式についての権利)の新設の効力発生日は、平成26年4月1日とする。本附則は、平成26年4月1日をもってこれを削除するものとする。**



# 6. 議案採決

# 7. 閉会宣言

# 株式会社リンクアンドモチベーション

## 第14期 定時株主総会



ひとりひとりの本気がこの世界を熱くする

Link and Motivation Group

